

「日銀が国民に 10 万円を直接渡すベーシックインカム案を
どう思いますか？」

令和 3 年 6 月 2 日

●岡崎 凌太さんからの質問

先日、苦米地式 UBI 案が発表されました。UBI とは Universal Basic Income の略であり、日銀デジタル円 (CBDC) という形で、1 人あたり月々 10 万円、日銀が国民に直接信用創造するというものです。日銀が国民に 10 万円を直接渡すため、国債の引き受けが発生しません。このベーシックインカムの財源は、日銀の QE (量的緩和) 資金供給の年額 120~150 兆円全額となります。また、消費を促すために、受け取ったベーシックインカムには消費期限 (1 年) が設けられます。また、あらゆる商品とサービスに使用可能ですが、金融商品やお金 (円等) と交換することはできません。私は、苦米地先生と同様に、世界に先駆け、日本でこの制度を導入すべきと考えますが、西田先生はこの制度について、どのようにお考えでしょうか。

●西田昌司の答え

苦米地式 UBI 案はデジタル通貨の存在が前提の発想ですし、現時点ではデジタル通貨がありませんので実現不可能ですが、発想自体は面白いと思います。

日本政府が例えば 100 兆円を発行して日銀に直接引き受けさせ、そのおカネを期限付き商品券にして国民に配れば、苦米地式 UBI 案とやっていることは同じになります。単におカネを渡すだけでは貯蓄に回ってしまって経済効果が薄れますが、期限付き商品券であれば確実に消費が増えてデフレ脱却の後押しにもなるでしょう。以前に行った 10 万円の特別定額給付金と違って、期限付きというところがポイントです。

100兆円規模の財政出動は実施可能ですし、長きにわたるデフレ不況の上にさらなるコロナ禍に見舞われた現在はむしろすべきですが、ばらまきとの批判がマスコミ等から湧き上がって実際にはなかなかやれません。

まずは貨幣の本質を国民に理解していただくところから始めなければなりません。

反訳：ウッキーさん

Copyright：週刊西田 <http://www.shukannishida.jp>